広報
かんべ

発　行　日　平成 26 年 3 月 1 日第 90 号
編集･発行　神戸地区市民センター
（神戸公民館・神戸地区住民自治協議会）
電話・ＦＡＸ　３８－１３００
E-mail　kanb-a15@ict.ne.jp
URL　http:www.ict.ne.jp/~kanb-a15/
神戸住民自治　検索

出合い　学び　気づき

神戸地区人権講演会が開催されました

～ひとごとから自分ごとへ～

講師：木村清俊さん

【人と出会っていく中で、学んでいく、そしてすべてが自分にかかわる問題である】

去る２月２日（日）、神戸小学校に於いて「神戸地区人権講演会」（主催：神戸地区人権啓発草の根運動推進会議）が開催されました。今年度は講師を地元朝日ヶ丘町の木村清俊さんにお願いし、『ひとごとから自分ごとへ』と題して講演をしていただきました。講演の中で木村さんは、「人を大切にするためにはどうしたら良いかと考えること、身の周りにいる人を大切にすること、それが人権につながる」と話されました。

当日は、人権パネル展のほか、神戸小学校児童と神戸保育所児童の人権ポスターも体育館に同時展示され、今年も 287 名の方々が参加し、熱心にお話しを聞きました。

人権パネル展

神戸保育所人権ポスター

熱心に話しを聞く参加者のみなさん

～木村先生の人権講演内容から～

講演の内容を４つのテーマにまとめて報告したいと思います。

◎人の話す「物語」について

人は印象的・感動的な体験をした時、それを誰かに語りたいものである。「物語」によって、その体験が自分とつながり、他人ともつながりを持つ。世代を超えて、聞いたり語る機会を持つことが大事ではないだろうか。

◎言葉の持つ力を、正しく伝える。

・言葉は、人を傷つけるためでなく、誰かを守り、誰かに伝え、誰かとつながり合うためにある。

・互いのコミュニケーションを図る事が大切である。コミュニケーションとは、考えを異にする者同士が、相手の意見に耳を傾け､それを尊重し、そして自らを高めていくことである。

・認められている子ども、褒められている子どもは、自分を知って他人を知り、他人の素晴らしさがよく見える子どもに育ちやすい。

伊賀市人権作品
～人権パネル展より～

◎差別問題について

差別されている地域・人がいると、とらえがちだが、差別する人がいるからこそ、差別は無くならないのである。

◎弱者と障がい者の問題について

弱者、障がい者の問題はややもすれば、当事者の問題と思われがちである。
今元気な人もいつかは老い、障がいを持つ身となるけれど、ハンディや障がいは周りの人や社会が取り除いたり、援助したりすれば克服できるのではないだろうか。

高齢者の多い講演会でした。高齢者のみの家庭、独り住まいの家庭、介護を要する家庭、子ども･孫をかかえる家庭など様々な家庭がありますが、神戸の人たちがこれからの生活を心豊かにしていくために、聞かせていただいて参考になる事や明日にも心がけてやっていけることがあったように思います。

報告：神戸地区人権啓発草の根運動推進会議事務局長　大石　幸生

神戸地区人権講演会に参加して　～アンケートより抜粋～

◆「人を大切にするためには何が必要なのか」ということに対して多くのことを学ばせていただきました。

◆普段何の気なしに発している言葉をもう一度見直し、人を傷付けることを言っていないか、その場の勢いでものを言っていないか、自問自答しながらこれからも言葉を大切にしていきたいと思います。

◆高齢者として近づいていく自分を感じ、ひとごとから自分ごとへと真剣に考えねばならないと思いました。孫の明るい未来があるように、接し方、言葉がけ、まなざしが大変重要である事を感じ､子どもたちからも､家の中でも尊敬される老人でありたいと思います。

◆障がいというのは、その人がもっているのではなくて、まわりにあるということを改めて感じました。そのまわりの壁を取り除くのはやはり人です。人にかける言葉も含めて自分に指を向けていきたいと思います。

◆食の大切さ、言葉の大切さ、そして何より「人と人とのかかわり」の大切さを改めて感じました。人権について考える貴重な時間となりました。

◆言葉一言の大切さを改めて実感し、また今後生活していく中で、ついつい人を傷付けてしまう事もあるかもしれませんが､反省もし､日々気をつけて生活していきたいと思います。

神戸地区木津川河川改修に4億円投入決まる！

２５年度
補正予算から

去る２月１８日、神戸地区住民自治協議会会長 荻田 他 区長７名が、三重県伊賀建設事務所および伊賀市役所を訪れ、建設事務所長里宏幸様、城本事業推進室長様、伊賀市役所では伊賀市長岡本栄様、北山建設部長様、中山公共事業対策室長様とそれぞれ和気あいあいと面談させていただきました。

木津川河川改修工事（井堰工事とは別予算です）における２５年度の補正予算５億円のうち神戸地区内に４億円が投下、投入されるとの決定に対してのお礼と、今後のお願いを下記のとおりさせていただきました。県応接室及び市長室では、同席の区長より各区の要望もいろいろ述べさせていただきました。行政の職責者の方々も充分に耳を傾けていただき“実行する”との回答をいただきましたことを、地区の皆様にご報告させていただきます。

神戸地区住民自治協議会会長　荻田 哲郎

平成２６年２月１８日

三重県伊賀建設事務所
所　長　　里　宏幸　様

木津川河川改修に伴う掘削、浚渫、護岸工事について

日毎、神戸地区住民自治協議会の運営に対し、ご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、首記の件に対し、先般貴流域課担当者様より平成２５年度の補正予算においての木津川改修に対し、５億円が投入されることが決定され、且つ当神戸地区に４億円が投下される旨、決定したとご連絡いただきました。

貴事業所様のご尽力に対し心より感謝の意を申し上げます。

是非９月の台風時期までに工事等をお進めいただき、毎年のように避難勧告が出されている神戸地区における住民生活の安全を守るために少しでも寄与されます事を願うものであります。

今後、工期、工事場所、輸送の順路等、工事についての住民への説明と安全を期していただき、さらなる工事の継続と一日も早い進行をお願いし地区住民の代表者名にて御礼とお願いとさせていただきます。

敬具

神戸地区住民自治協議会

会　　長	荻田　哲郎
枡川　区長	板橋　　理
上林　区長	西岡　民生
上神戸区長	半田　敏明
古郡　区長	岸本　義成
比土　区長	大石　幸生
朝日ヶ丘自治会長	田中　利勝
下神戸区長	荻田　哲郎

工事の協力依頼については、
岡本市長・川﨑衆議院議員・空森市議会議長・中岡産業建設常任委員長及び森本伊賀川漁協組合長にあわせて文書を提出させていただいています。

次回のかんべいきいき市（農産物直売所）は3月1日（土）です！

＊午前　　９時００分～１０時００分　ＪＡ神戸ふれあい店前
＊午前　１０時１５分～１０時４５分　朝日ヶ丘町公民館前
＊午前　１１時００分～１１時３０分　きじが台地区市民センター前

味噌作り教室が開かれました！

神戸公民館自主事業の「味噌作り教室」が、神戸地区市民センターで二日間にわたり開かれました。講師には、領主谷で毎年味噌作りをされている平木明美さんと東本満子さんにお願いし、神戸地区文化祭の大鍋（あ・かんべ汁）に提供していただいている人気のお味噌の作り方を教えていただきました。

まず１日目は、味噌作りの工程説明を受けた後、大豆の選別作業をしました。そして２日目は、一昼夜水に漬けておいた大豆で、いよいよ味噌作りが始まりました。大豆を圧力釜で炊き、ざるにあけた大豆を冷ました後、塩とこうじをまぜた大豆をミンチにし、丸めたものをタルに詰めていきます。各工程ごとのそれぞれのポイントを聞きながら参加された皆さんは和気あいあいとお味噌作りを楽しみました。あとは熟成を待ち、美味しいお味噌は１０月頃にできあがるそうです。

まずは大豆を選別します

指で潰せる程度まで軟らかく炊きます

美味しいお味噌ができます様に！

塩と糀をまぜます

ミンチにして丸め、タルに詰めます

お味噌は生きもの･･･みなさん心をこめて作りました

神戸公民館自主事業

会員募集中！

26年度「絵手紙教室」のご案内

神戸公民館では自主事業として「絵手紙教室」を開講しています。現在１２名の方々が月１回の教室を楽しみに参加されています。はじめての方でも、道具の準備等先生にお願いし、無理なく始められますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

日　時：第2木曜日　13：00～15：00
講　師：高 西　悦 子 先生（名張市すずらん台）
会　費：月 500円　※道具は実費となります
場　所：神戸公民館（神戸地区市民センター）

＊お申し込み・お問い合わせ＊

神戸地区市民センター兼神戸公民館　☎ 38 - 1300

３月の主な行事予定

- ３月　４日(火)　10：00～　かんべ元気っ子広場
- ３月　７日(金)　9：30～　上野南中学校卒業式
- ３月　９日(日)　19：30～　住民自治運営委員会
- ３月１２日(水)　13：30～　公民館清掃作業
- ３月１３日(木)　13：00～　神戸公民館「絵手紙教室」
- ３月１３日(木)　19：30～　神戸公民館「ヨガ教室」
- ３月１４日(金)　13：30～　住民自治協議会役員会
- ３月１９日(水)　9：30～　神戸小学校卒業式
- ３月２６日(水)　10：00～　神戸保育所修了式
- ３月２７日(木)　19：30～　神戸公民館「ヨガ教室」